

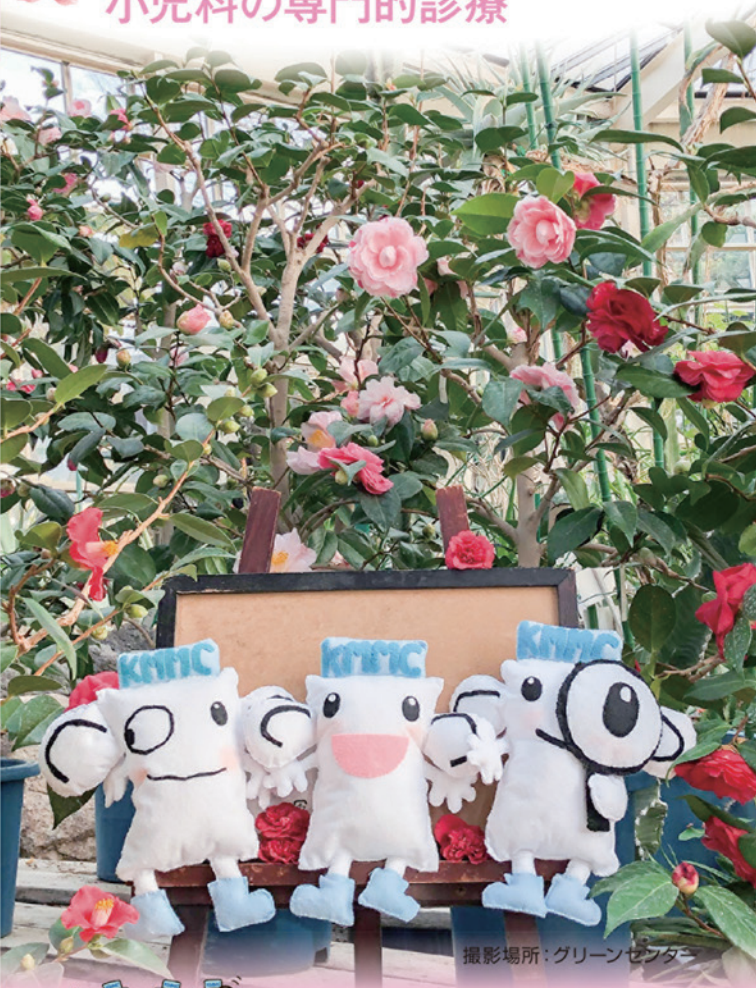
川口市立医療センター広報紙

はな みず き
花水木

特集

2021.3.1 Vol. **48**

小児科の専門的診療



撮影場所：グリーンセンター



川口市立医療センター「みみたーず」
イメージキャラクター
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

マイナンバーカードが健康保険証に ～事前の利用申込が必要です～

国は、令和3年3月(予定)から、マイナンバーカードを健康保険証として利用できる仕組みを導入し、医療機関や薬局がオンラインで患者の最新の医療保険の資格情報を確認できる「オンライン資格確認」制度を開始します。

この制度により、医療機関では職員の事務作業が削減できるとともに、患者は専用のサイト(マイナポータル)で自身の特定健診情報や薬剤情報、医療費情報等を見ることができるようになります(順次開始予定)。

また、かかりつけ医以外の医療機関もオンラインで情報を閲覧できることから、災害時でもその情報を頼りに迅速で適切な検査や治療等の実施が可能になります(通常時の閲覧には本人同意等が必要)。

今後、当センターでも、業務の効率化と患者の利便性向上のため、顔認証付きカードリーダーによるオンライン資格確認を導入します。これに伴い、保険証確認の窓口も変更になります。開始時期等については、決定次第、当センターホームページでお知らせします。

オンライン資格確認Q&A

Q 保険証は使えなくなるのですか？

A 今までどおり保険証でも受診できます。

Q マイナンバーカードを持っていれば、そのまま保険証として利用できるのですか？

A 事前に手続きが必要です。あらかじめ保険証利用の申込をしてください。



詳細及び保険証利用申し込みはこちら
(国のサイトが表示されます)



小児科の専門的診療

小児科は、小児の一般診療および休日夜間の二次救急診療を主体として対応していますが、以下のような専門的診療も行っております。

今後もお子さんが安心して暮らせるよう努力して参りますので、よろしくお願いたします。

4月以降は外来日、担当医が変更される場合がありますのでお電話でご確認ください。

リウマチ膠原病外来

曜日●毎月第3月曜日午前（4月から第3火曜日午前）

担当医●清水正樹

若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス、若年性皮膚筋炎、シェーグレン症候群、血管炎症候群、自己炎症性疾患、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）など、こどものリウマチ膠原病疾患全般および炎症性腸疾患を担当しています。病状に応じて、生物学的製剤を用いた先進的な治療も実施しています。原因不明の発熱が持続する（不明熱）、原因不明の発熱を周期的に繰り返す（周期性発熱）、関節の腫れや痛みが続く、腰痛や踵の痛みが続く、光線過敏や凍瘡（しもやけ）様の皮疹がみられる、腹痛や血便、体重減少が続くなどの症状がみられる場合には、ぜひお気軽にご相談ください。

内分泌外来

曜日●月・火・水曜日午後

担当医●宮川雄一、酢谷明人、高澤啓、我有菜希

主に低身長・高身長・思春期早発・思春期遅発・肥満の精査・治療や、甲状腺機能低下症・バセドウ病・くる病・糖尿病の治療を、東京医科歯科大学小児科と連携しながら

行っています。成長ホルモン注射は年間10名程度に導入しています。1型糖尿病では患者さんの希望に応じて、持続皮下インスリン療法（CSII）やFreeStyleリブレも導入しています。日本内分泌学会内分泌代謝科専門医が常勤しています。

循環器外来

曜日●火・水・木・金曜日午後

担当医●西岡正人、小宮枝里子

循環器外来ではお子さんの心臓の病気の診療を行っています。例えば、生まれつきの心臓病（先天性心疾患）や不整脈、川崎病などがあげられます。診察の他に、レントゲン、心電図、心臓超音波検査といった検査も行います。また、当センターは乳幼児健診や学校心臓検診の2次検診施設に指定されています。心臓検診は隠れた心疾患を早期に発見するための大切な取り組みで、追加検査が必要と診断された場合には当センターへご相談ください。

腎外来

曜日●毎月第1・3・5木曜日午後

担当医●宇田川智宏

腎疾患の症状といえば血尿や蛋白尿があり腎炎・ネフローゼなどの疾患が代表的ですが、他にも紫斑病、夜尿症、高血圧、電解質異常、低身長、頻尿なども呈します。東京医科歯科大学と連携し腎機能検査や腎生検、遺伝子検査などに対応します。様々な切り口で安心できる高度な診療の提供を目指します。ご心配な点があればいつでもお気軽にご相談ください。

アレルギー外来

曜日●火・木曜日午後

担当医●横山達也、高澤玲子

アレルギー外来では、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アト

ピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー、じんましんなどの診療をしています。治療には、症状を軽くしたり予防したりする薬物療法やアレルゲンを摂取して耐性をつける免疫療法があります。食物経口負荷テストで安全に食べられる量を確認して食べてもらう食事指導や、アレルギー性鼻炎の原因となるダニやスギ花粉の舌下免疫療法を積極的に行っています。

神経専門外来

担当医●下平雅之、野村敏大、鈴木智典、岩田啓

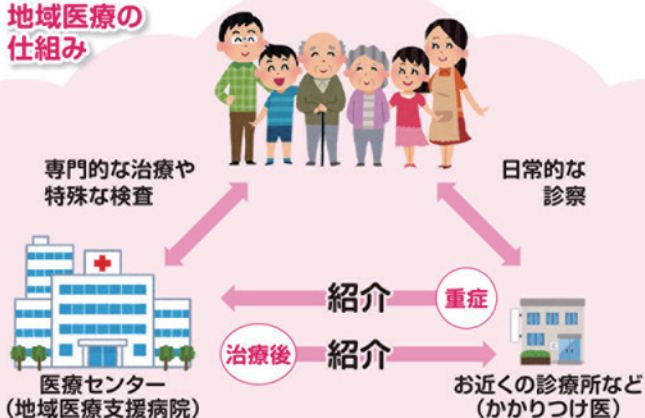
神経外来では、その名の通り神経（脳・脊髄・末梢神経）や筋肉に関する問題に対応しております。具体的にはてんかんや脳性麻痺、脳奇形・脳血管奇形、染色体疾患、筋疾患、発達障害など扱う疾患は多岐にわたり、他科や他の医療機関と連携して診療にあたることもあります。

なお、学童期以降の発達相談に関しては予約制とさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



※通常はマスクを着用しております

地域医療の 仕組み



バス案内(国際興業バス)

川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス(川口市コミュニティバス)

みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)



ホームページ